

司法試験短答式試験攻略大作戦

—2024年対策短パフェ憲法・民法・刑法重要問題一覧一挙公開—

令和6年2月23日（金）

辰巳専任講師・弁護士 福田俊彦先生

辰巳法律研究所教材制作課研究員 宇野良一

【辰巳が出版している短答式試験対策の参考書等】

- ・『2024年司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト』（以下「短パフェ」という。）
（辰巳HP）<https://tatsumionline.stores.jp/items/655b14addba43700311e7f54>
- ・『2024肢別本』（辰巳HP）
<https://tatsumionline.stores.jp/items/659b67eba5176309445022a0>
- ・辰巳の肢別 [司試・予備・LS]R5版(2024対策版)
<https://service.tatsumi.co.jp/special/38302/>

1 短答式試験における必達目標

令和5年司法試験でいえば、125点（順位1553位。累計1624人）が短答式試験における必達目標です。

そのためには、憲法35点（得点率70%）、民法50点（得点率3分の2）、刑法40点（得点率80%）を取ることが必須です。

2 短答式試験対策の総論

短答式試験対策を考えて実行する際には、各科目のどの分野でどれだけの点数を取ればよいのか、これからどれだけ点数を上げなければならないかを具体的に把握することが大切です。基本的には、民法が最も重要な科目になり、刑法が2番目に重要な科目になるはずですが。

そして、各科目の基本的事項を押さえることを最も優先してください。このことは、「司法試験の方式・内容等の在り方について」（平成30年8月3日司法試験委員会決定、法務省HP掲載）の「第2 短答式試験の在り方」の「4 出題の在り方」には、「短答式試験は、裁判官、検察官又は弁護士となろうとする者に必要な専門的な法律知識及び法的な推論の能力を有するかどうかを判定することを目的とするものであるが、その出題に当たっては、法科大学院における教育内容を十分に踏まえた上、基本的事項に関する内容を中心とし、過度に複雑な形式による出題は行わない。」（下線は、本レジュメ作成者が引いた。）と記載されていることから窺えます。

そして、どの科目でも、短答式試験対策は、短パフェなどの本試験過去問集を中心に学習してください。なぜなら、本試験過去問類似の基本的事項に関する内容を問う出題が多くさ

れるからです。もっとも、基本的事項に関する知識が不十分で本試験過去問を解こうとしても全然解けない場合には、はじめは問題文を一読して直ぐに答えを見て確認して先に進むという方法もよいです。短パフェは、解説部分の基本的事項を太字にするなどの工夫をして学習効果を高めておりますので、是非ご活用ください。

また、短答式試験対策として基本書などを適宜参照することは有益ですが、短答式試験と論文式試験の双方に適した基本書は少ないです。また、あるとしても、分量が多くて通読し難いものがほとんどです。そこで、今回は、各科目における短答式試験対策に適した基本書などを適宜紹介します。なお、短答式試験対策に適した基本書の特徴は、①薄くて通読も比較的可能、②条文・趣旨・判例などの基本的事項に関する客観的な記述に徹している、③主要な学説の客観的な現状を記載しており著者の主観的な見解はある程度控えられている、④出版や最新の改訂からさほど期間が経過しておらず最新の法改正や判例に対応しているものといえます。

さらに、短答式試験のスタンダード短答オープンなどの模擬試験は、本試験のシミュレーションと出題予想の観点から、是非受講されることをお勧めします。受講後には、間違えた問題を中心にしっかり復習して下さい。特に、正答率が高い問題を誤った場合には、当該問題のテーマに関連する本試験過去問をも含めて復習すると効果的です。

3 民法の短答式試験対策

民法の短答式試験は、知識勝負です。そのため、下記などをインプット教材としつつ、総則、物権総論、担保物権、債権総論、契約法、法定債権、親族・相続などに区切って、短答本試験過去問を並行して解きつつ学習していくのが効果的です。

- ・平野裕之『コア・テキスト 民法[エッセンシャル版]』（新世社、2021）
- ・佐伯仁志／道垣内弘人／荒木尚志編集代表『有斐閣判例六法 令和2年版』（有斐閣、2023）
- ・各社の短答式試験対策六法

もっとも、短答式試験の模試などを受講した受験生から、「債権法改正部分をどうしても間違えてしまうので、何とかしたい。」という声も聞きます。そのような受験生は、下記のような債権法改正に対応しており、改正の経緯などにも言及している当該分野における標準的な基本書を購入し、債権法改正部分で特に苦手とするテーマのみ拾い読みをするという方法もあります。なお、改正の経緯などの知識は、司法試験等に不要との考えもあると思いますが、標準的な基本書に掲載されているレベルの知識でしたら、把握しておいた方が理解に資する上に、記憶に残りやすいと思います。

- ・山本敬三監修『有斐閣ストゥディア』（有斐閣）
- ・『日評ベーシックシリーズ 民法』（日本評論社）

さらに、短時間で債権法改正の概要を習得したいのであれば、法務省民事局が作成した「民法（債権関係）の改正に関する説明資料―主な改正事項―」（下記の法務省HP「民法の一部を改正する法律（債権法改正）について」に掲載されています。）が非常に有益です。フルカラーで打ち出して読むと分かり易いです。

http://www.moj.go.jp/MINJI/minji06_001070000.html

なお、上記の法務省民事局作成の説明資料を主な教材とした、辰巳専任講師・弁護士福田俊彦先生担当の「わかりやすい改正民法（総則・債権）体系講義」があります。

<https://tatsumionline.stores.jp/items/5f6c0c60b5b1086f04c63e9a>

近時改正や論文式試験での出題が多い家族法については、青竹美佳・羽生香織・水野貴浩『家族法』（日本評論社、第4版、2023）が、最新情報をコンパクトにまとめており、お薦めです。

4 刑法の短答式試験対策

短答式試験対策に適した基本書としては、知識の網羅性を重視するのであれば、西田典之『刑法総論』（弘文堂、第3版・橋爪隆補訂、2019）、同『刑法各論』（弘文堂、第7版・橋爪隆補訂、2018）が良いです。特に、西田典之『刑法各論』は、旧司法試験時代から受験生の評価が高く、適宜改訂されて刑法各論分野をリードしてきた文献です。そして、西田先生が逝去された後も、橋爪隆教授による改訂がなされ、短答本試験問題のいわゆるタネ本としての価値は高まっているといえます。もっとも、この2冊を合わせた頁数は1000頁以上になるため、司法試験直前期の通読は、現実的ではありません。短答本試験過去問や短答式試験模擬試験で誤答した部分のみを読めばよいでしょう。

また、短答本試験過去問や短答式試験模擬試験を解いた結果、刑法の知識不足等でかなり低い点をとってしまい、何とかしたいという受験生は、木村光江『刑法』（東京大学出版会、第4版、2018）を一気に通読すると、効果的です。木村教授は、旧司法試験考査委員や司法試験委員会委員などを歴任されていて、司法試験に精通されています。また、同書のはしがきには、「…予備試験、司法試験に必要なかつ十分な知識を盛り込んだ。初学者も読者として想定されることから、択一試験に出題されることの多い論点も、網羅した。」と記載されています。さらに、総論と各論を一冊にして500頁弱でまとめられ、まず条文を記載し、次に著者の主観的な見解を控えめにした本文の後、重要判例の記述部分に色網掛けを施すなど、（いわゆる短答式試験対策六法のように）受験生にとって非常に使い易い内容です。

もっとも、西田教授の本も、木村教授の本も、令和5年性犯罪に関する刑法改正には対応していませんので、各自で補充してください。

短答式試験刑法に関しては、いわゆる学説・論理問題（令和5年司法試験短答式試験刑法第7問「未遂犯と不能犯の区別」など）の比重が大きいため、本試験過去問を必ず検討してください。また、このような学説・論理問題で出題された箇所が、司法試験論文式試験刑事

系第1問でも出題されやすいといえます。

5 憲法の短答式試験対策

基本的事項に関する内容を中心に出题される憲法の短答式試験対策として極めて有用なのは、芦部信喜『憲法』（岩波書店、第8版・高橋和之補訂、2023）（以下「芦部憲法」という。）です。

芦部憲法は、①それほど文字数がなく、分かりやすい文章で書かれているため通読が可能であり、②とりわけ注の部分を中心に基本的事項に関する客観的な記述が充実しています。また、③当然本文は芦部先生の見解が多く記載されているものの、その多くは現在でも通説を形成しており、④1999年の芦部先生逝去後は、高橋和之教授によって適宜補訂されており、常に憲法学に関する最新情報に接することが可能です。とりわけ、芦部憲法の注の部分の判例紹介は、旧司法試験以来、短答憲法の重要な素材ともいわれています。

芦部憲法は、その全体について短答式試験対策に有用な情報ばかりであり、可能であれば短答過去問を解くのと並行して丁寧に通読することをお勧めいたします。

また、憲法の条文を通読する機会は少ないかもしれませんが、条文知識が問われる憲法総論及び統治機構を中心に、条文の音読又は素読もしてください。

学説対策としては、芦部憲法の記載をしっかりと理解し、適宜、短パフェの該当問題、憲法判例百選の解説部分及び各社が出版している短答式試験対策六法などで補充すれば十分です。

6 司法試験スタンダード短答オープン、全国公開模試などのご案内

- ・2024スタンダード短答オープン（第2クール）好評開講中！
（辰巳HP）<https://service.tatsumi.co.jp/shin/kouza/16821/>
- ・新・短答合格FILE準拠 新・短答完璧講座 好評開講中！
（辰巳HP）<https://service.tatsumi.co.jp/shin/kouza/27838/>
- ・2024辰巳・司法試験全国公開模試 5月実施！
（辰巳HP）<https://service.tatsumi.co.jp/shin/kouza/33681/>

【参考資料】

- ・令和5年司法試験問題集（法務省HP）
https://www.moj.go.jp/jinji/shihoushiken/jinji08_00198.html
- ・令和5年司法試験短答試験結果（法務省HP）
https://www.moj.go.jp/jinji/shihoushiken/jinji08_00202.html

【参考動画】

- 2024 司法試験学習戦略座談会 西口竜司先生、福田俊彦先生、松永健一先生、辰巳宇野
<https://www.youtube.com/watch?v=7kURot0kQm8>
- 2024 司法試験学習戦略座談会(補遺) 辰巳宇野
<https://www.youtube.com/watch?v=x8A3I1N4AU0>
- 令和6年司法試験審査委員名簿を踏まえた学習戦略座談会 西口竜司先生、福田俊彦先生、辰巳宇野
<https://www.youtube.com/watch?v=1jUDJzz15mY>

以上

2024年短答過去問パーフェクト憲法・民法・刑法 重要問題一覧

辰巳専任講師・弁護士 福田俊彦先生監修

辰巳法律研究所教材制作課 宇野良一作成

■ 憲 法

これは、『2024年（令和6年対策）司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト1 憲法』（辰巳法律研究所、2023）に掲載されている全412問から、155問の重要問題を選定したものです。選定した方針は、以下のとおりです。

- ① 問題数を4割弱に圧縮し、これを修得できれば短答式試験憲法で7割以上取れるようになることを目指しました。
- ② 『憲法判例百選』に掲載されている判例などの重要な知識を網羅することを重視しました。
- ③ 判例や学説を素材とする問題に関しては、論文式試験における出題可能性も考慮しました。
- ④ 重複している知識に関する問題は、なるべく直近の過去問を選定しました。

『2024年（令和6年対策）司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト1 憲法』（辰巳法律研究所、2023）問題番号

【第1編 総論】

7 11 13 19 25 32 33 37 44

【第2編 基本的人権】

48 49 51 54 55 58 60 65 68 69 73 75

77 80 82 87 88 96 97 98 99 100 102

103 106 111 119 120 121 126 127 133

135 136 141 145 149 150 152 153 155

157 158 160 161 163 164 165 167 168

170 171 172 176 177 178 181 182 185

186 187 194 196 199 201 204 207 211

213 214 216 219 221 225 228 230 231

240 241 248 249 252 254 261

【第3編 統治機構】

267 271 272 274 275 277 278 280 282
284 288 290 291 294 295 296 297 300
301 304 305 308 314 316 324 326 328
332 334 335 336 337 341 343 344 345
347 349 352 357 359 361 363 364 365
374 376 377 378 383 386 392 396 397
399 402 403 405 406 407 408 410

合計155問
以上

■ 民法

これは、『2024年（令和6年対策）司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト3 民法①』及び『4同②』（辰巳法律研究所、2023）に掲載されている全690問から、256問の重要問題を選定したものです。選定した方針は、以下のとおりです。

- ① 問題数を4割弱に圧縮し、これを修得できれば短答式試験民法で7割以上は取れるようになることを目指しました。
- ② 『民法判例百選』に掲載されている判例などの重要な知識が網羅されているかを重視しました。
- ③ 重複している知識に関しては、なるべく直近の過去問を選定しました。
- ④ 単純知識問題ではなく事例問題となっている選択肢の問題を重視しました。
- ⑤ 債権関係改正が施行された令和2年以降の問題から多く選定しました。
- ⑥ 判例・学説、出題の周期性などから令和6年司法試験論文式試験に出題可能性が高い分野は、多めに選定しました。

1 『2024年（令和6年対策）司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト3 民法①』（辰巳法律研究所、2023）問題番号

【第1編 総則】

6 11 12 16 19 21 25 26 28 30 35 36 42
45 46 47 49 53 54 56 58 61 62 65 68
75 81 84 88 91 93 97 100 102 105 106
107 109 110

【第2編 物権】

116 119 129 131 132 136 141 143 144
145 146 147 154 156 157 159 163 168
169 170 172 175 176 177 182 183 185
190 191 192 195 197

【第3編 担保物権】

203 205 209 214 215 221 223 226 230
232 233 234 238 239 242 244 246 250
252 253 255 256 261 262 265 269 272
274 277 278

合計101問

2 『2024年（令和6年対策）司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト4 民法②』（辰巳法律研究所、2023）問題番号

【第4編 債権総論】

281 283 284 289 291 293 294 296 298
 299 301 302 307 309 310 311 317 319
 320 322 326 327 328 336 339 340 341
 343 347 348 349 351 352 353 356 361
 363 364 365 369 371 372 375 379 380
 386 387 388 389 393

【第5編 契約総論】

397 401 404 406 410 412 415 416 417
 418 419

【第6編 契約各論】

423 424 427 431 433 434 437 439 440
 448 449 450 453 454 455 459 463 467
 468 471 473 475 481 482 485 486 490
 493 496 497 502 507 508 510

【第7編 事務管理・不当利得・不法行為】

514 517 519 520 521 522 525 529 533
 534 538 539 541 542 543 546

【第8編 親族】

549 553 554 559 562 563 566 572 574
 582 583 585 586 591 593 597 602 603
 606

【第9編 相続】

608 610 612 616 620 622 626 627 630
 634 641 642 643 644 647 648 651 654
 655

【第10編 総合問題】

657 661 669 674 687 689

合計155問
 以上

■ 刑 法

これは、『2024年（令和6年対策）司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト7 刑法』（辰巳法律研究所、2023）に掲載されている全399問から、168問の重要問題を選定したものです。選定した方針は、以下のとおりです。

- ① 問題数を4割程度に圧縮し、これを修得できれば短答式試験刑法で7割以上取れるようになることを目指しました。
- ② 『刑法判例百選』に掲載されている判例などの重要な知識を網羅することを重視しました。
- ③ 論理・学説問題に関しては、論文式試験における出題可能性も考慮して多めに選定しました。
- ④ 重複している知識に関する問題は、なるべく直近の過去問を選定しました。

『2024年（令和6年対策）司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト7 刑法』（辰巳法律研究所、2023）問題番号

【第1編 刑法の基礎原理】

5

【第2編 犯罪】

8 9 10 13 15 16 18 23 27 28 31 35 36
37 40 41 44 46 50 55 56 58 59 61 64
69 75 76 78 80 81 82 83 85 86 91 94
95 104 105 109 110 111 113 116 119
120 121 122 125 126 129 131 133 135
138 139 141 142 143 144 145 146 147
148 149 153 154 156 159 162 164 165
167 169 171 177 180 181 182

【第3編 刑罰】

191 194

【第4編 個人法益に対する罪】

201 203 206 208 209 210 211 212 215
219 225 231 232 233 238 239 241 242
245 249 253 254 257 258 259 260 262

263 265 266 268 270 273 274 275 276
279 282 284 286 288 291 293 296 298
299 306 314

【第5編 社会法益に対する罪】

318 319 322 326 327 328 329 330 334
338 339 340 341 342 343 347 348 352
353

【第6編 国家法益に対する罪】

357 358 359 363 370 371 372 375 381
382 384 385 386

【第7編 総合問題】

390 394 395 396 398

合計168問
以上